

## 元気な集落づくり研修会 ～三次支部～

平成22年12月8日、「元気な集落づくり研修会」が、三次グランドホテルで開催されました。この研修会は、三次市農業振興会議等との共催で開催され、集落法人、営農集団など約160名の参加がありました。

基調講演を行った農政ジャーナリストの村田泰夫さんは、「TPPへの参加は与党内でも十分な議論がされないまま、参加が表明された。TPPありきで議論を進められるべきではない。貿易自由化による“市場開放”と“農業対策”の両立が肝要であり、農業先進国同様に、“価格政策”から“所得政策”へ転換しなければならず、そういう意味では、所得補償制度は一定の評価ができる。このような制度の展開で経営発展や規模拡大が進む。」とあり、昨今の最大の関心事を中心にしたお話でした。

パネルトークでは、グリーンピア大佐村（庄原市）、（農）ファーム・おた、（農）恵の各代表が出席し、元気な集落づくりのポイントが議論され、地域に立脚しつつ、若者雇用により、周年業務を創出することで、農業が生活の基盤になり、元気な集落が形成されている様子がうかがえました。



会場は、参加者でほぼ満席でした

## 芸北リーダー養成講座 ～芸北支部～

平成22年12月16日、クリスタルアージュ（安芸高田市）において芸北地域の「集落法人リーダー養成講座」が芸北地域集落法人連絡協議会の主催で開催されました。

基調講演で（農）藤本農園（庄原市）の藤本聡さんは、「さまざまなイベントで顧客開拓と地域での信頼を獲得した。『地域の中で、地域と共に』活動した結果、大規模化を可能にした。また、10年先を考えた場合、外部雇用が必須と考えた。」と将来展望が明確な企業経営を行われています。

後半は、パネルに（農）うづつき、（農）東山、（株）トベコおぼらの各代表等に藤本さんを加えて、設立から経営の展開方法に至る内容で、ディスカッションが行われました。パネルからは、高齢化から脱却するため法人化、若者の雇用で農業の再生と地域の活性化、冬場の業務のための多角化とお客確保の努力、将来を考えた長期的な事業展開により、農業で生活できる環境を構築し持続性のある農業経営を目指している姿が明らかになりました。



右からトベコおぼら（沖田さん）、東山（大石さん）、うづつき（小川さん）、藤本農園（藤本さん）、広島県（田中さん）

## 農技大交流会 ～担い手研究班活動～

平成22年12月1日、県立農業技術大学校にて、広島県の主催で集落法人と大学生の交流会が開催されました。集落法人への就農促進を目的に開催したもので、当法人協担い手研究班、将来雇用を具体的に検討中の11法人、農業技術大学校1、2年生と先生達の約80名が参加しました。

今回は、主に1年生を対象に集落法人の理解の醸成と就農機会の提供を目的に第1弾として実施し、集落法人の雇用事例報告と参加法人PRや学生からの質問により、集落法人に求められている人材像が明らかとなりました。また、個別面談により具体的に訪問する約束をするなど第1弾から就農の促進につながる成果が見受けられた充実した内容となりました。

【学生アンケート結果】（回答数41名中34名 回答率83%）

- ①理解度が上がったところ、約6割の学生が「集落法人への理解が深まった」と回答しています。
- ②集落法人への就農意識が上がったところ、「就職したい（9%）、集落法人についてもっと知りたい（53%）」となり、6割を超える学生が就農に興味を持っているといえます。
- ③集落法人の理解を深める手段として、現地視察（62%）、従業員との交流（24%）、研修（24%）の順に多い。

今回のアンケートにより、第1弾の初期の目的は達成できたと考えており、次回へつながるヒントもアンケートからうかがうことができました。

### ◆「広島県集落法人記念大会」集約中！！

広島県と共催により、今年度集落法人の設立数が200を超えたことを記念して、この大会を開催します。集落法人の皆様におかれましては、普段ご参加の役員様をはじめ、一般の構成員も含め多数の参加をお待ちしております。また、近隣の法人化等を御検討の方をお誘いあわせの上、支部、市町などに申し込んでください。

日時 平成23年2月1日 13:30から 場所 県民文化センター（広島市中区大手町（広島バスセンター近く） 参加申込 1月14日締切

★大会終了後、200法人を記念したレセプションを開催します。集落法人のみなさまのご参加をお待ちしております。



集落法人で 楽しい農業

豊かな 材で築く 地域の未来